


平成29年度 生協トップ研修会報告

平成29年12月4日(月) 名古屋国際ホテル

講演 「運命を拓く経営者のための“はがき術”」
～なぜデジタル時代に超アナログなはがき～

講師 長谷川よしかず様
中日文化センター一字てがみを指導

運命を拓く 経営者のための
「3分はがき術」
一字はがきプランナー
長谷川よしかず



◇参加者 31名(22生協28名、事務局3名)

あいち2名、コープあいち2名、生活クラブ1名、トヨタ1名、かりや愛知中央2名、一宮2名、トヨタ車体1名、愛知県職員1名、愛知県警察職員2名、南医療1名、名古屋市民火災共済1名、アイチョイス1名、東海コープ1名、名古屋大学消費1名、名古屋工業大学1名、中京大学1名、金城学院大学1名、愛知教育大学1名、愛知大学1名、名城大学1名、大学生協東海事業連合1名、愛知県勤務医師1名

・1枚のハガキ

自身55歳、母78歳の時に字手紙を始めた。
最初は100枚を目標に始めたが、5年間書き続け1,825枚になった。

母は83歳で亡くなったが、最後まで感謝された。

・デジタルな時代にアナログ

～気持ち伝わり、親近感が増す～

ホテルにパソコンのコードを置き忘れた。

その日に電話したら、翌日の朝10時に届いた。

感謝のハガキを差し上げた。翌年同じホテルを利用したら覚えてくれていた。ホテル(チェーン)で話題になったとのこと。

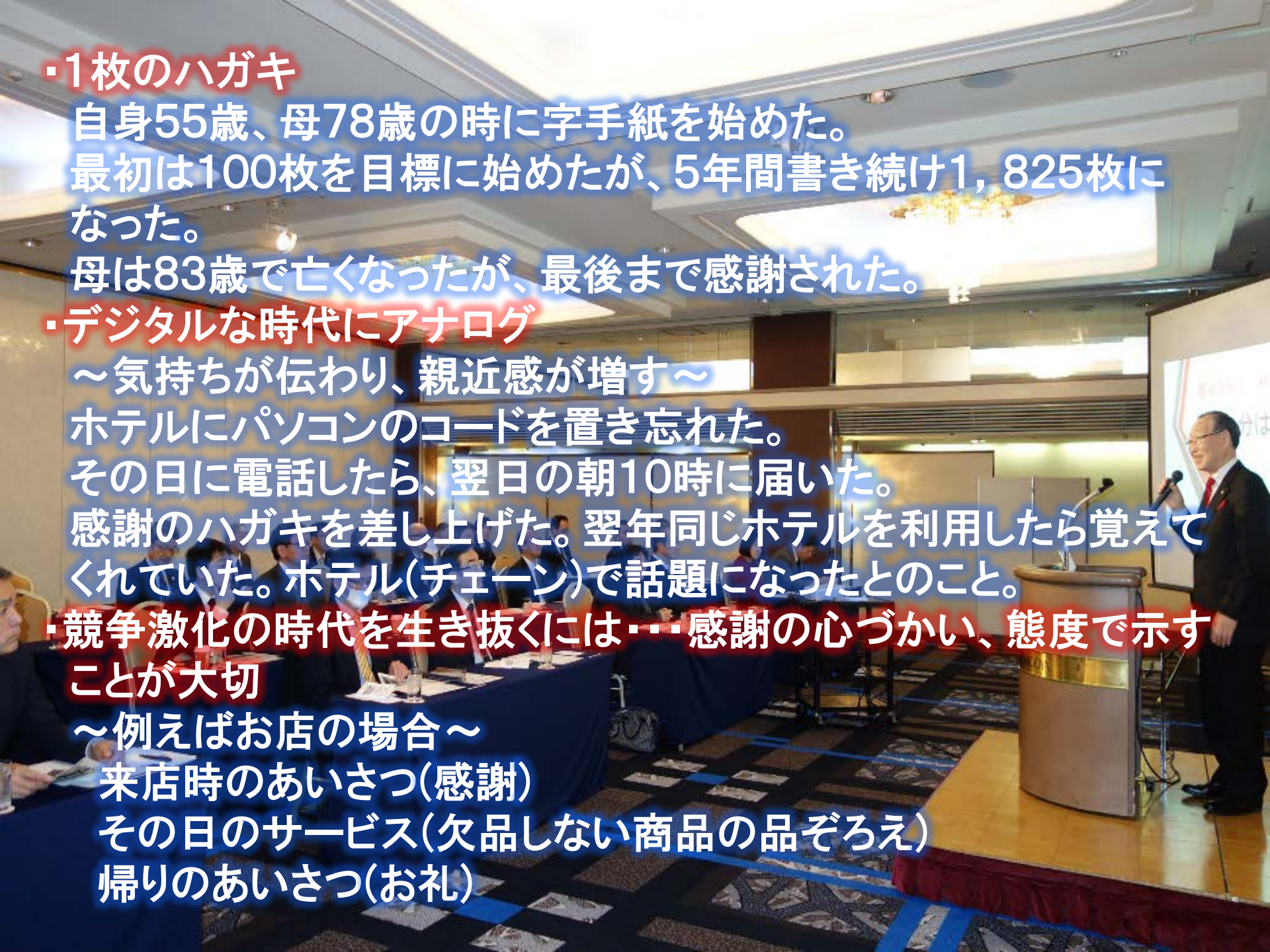
・競争激化の時代を生き抜くには・・・感謝の心づかい、態度で示すことが大切

～例えばお店の場合～

来店時のあいさつ(感謝)

その日のサービス(欠品しない商品の品ぞろえ)

帰りのあいさつ(お礼)



字てがみ体験・・・家族、知人宛のはがき
「季節のはがき」「誕生日のはがき」「感謝のはがき」

